

《日商簿記2級》 —工業簿記—

30. 固定費調整

～直接原価計算と全部原価計算の営業利益について～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



固定費調整

～固定費調整とは?～

<固定費調整を行う理由について確認しよう!>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>



固定費調整

<固定費調整とは?>

- ・固定費調整とは、()方式の営業利益を()方式の営業利益に修正する手続きをいう。
- ・この修正が必要な理由として、直接原価計算方式で計算された営業利益をそのまま外部報告用の資料として使用することが、制度上認められていないためである。
- ・なお、この両者に差額が生じる原因としては、直接原価計算方式の場合、固定製造原価(固定製造間接費)を()として処理するのに対して、全部原価計算方式では、()として処理するためである。
- ・これらの処理方法の違いから、固定製造原価の()の分にズレが生じるため、この調整を行っていく。

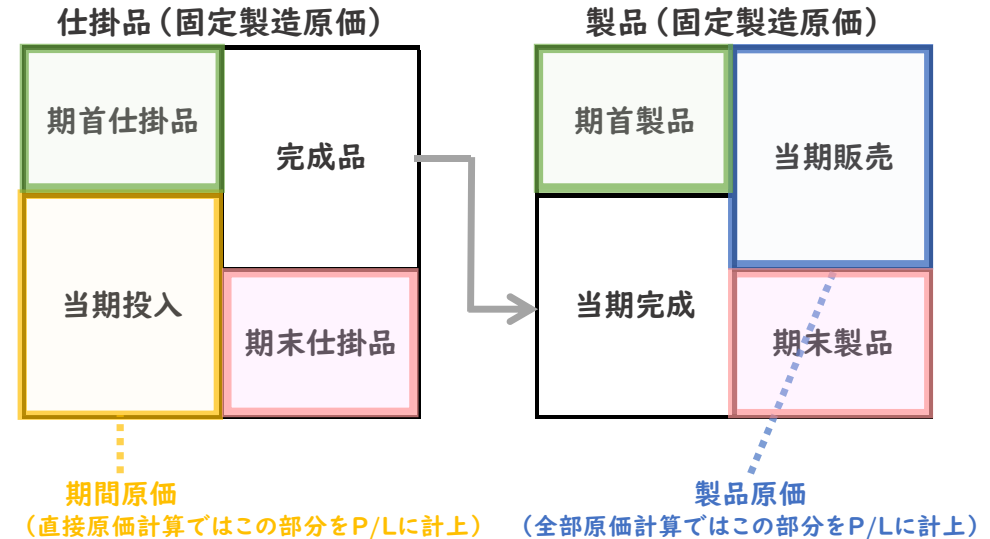
○用語○

- ・製品原価…製品が販売された時点で費用として処理されるもの ※仕掛品勘定・製品勘定を経由する
- ・期間原価…一定期間における発生額をそのまま費用として処理するもの ※仕掛品勘定・製品勘定は経由しない
- ・棚卸資産…製造活動・販売活動のために会社で保有している在庫のこと(仕掛品、製品など)

P/L(直接原価計算方式)			
I. 売上高			×××
II. 変動売上原価	製品原価(変動製造原価のみ)		
1. 期首製品棚卸高		×××	
2. 当期製品製造原価		×××	
合計		×××	
3. 期末製品棚卸高		×××	×××
変動製造マージン			×××
III. 変動販売費			×××
貢献利益			×××
IV. 固定費			
1. 固定製造原価	期間原価	×××	
2. 固定販売費		×××	
3. 一般管理費		×××	×××
営業利益			×××

P/L(全部原価計算方式)			
I. 売上高			×××
II. 売上原価	製品原価(すべての製造原価)		
1. 期首製品棚卸高		×××	
2. 当期製品製造原価		×××	
合計		×××	
3. 期末製品棚卸高		×××	×××
売上総利益			×××
III. 販売費および一般管理費			
1. 販売費		×××	
2. 一般管理費		×××	×××
営業利益			×××

修正



●直接原価計算による外部報告が認められていない理由について●

原価計算制度(財務諸表作成のための一般的基準)では、「すべての製造原価要素を製品に集計し…」とされており、全部原価で集計することが原則となっている。また、変動費と固定費に原価分解した数値を用いることは、必然的な結びつきがないため報告用の資料として不適切とされる。

固定費調整

～固定費調整の計算方法～

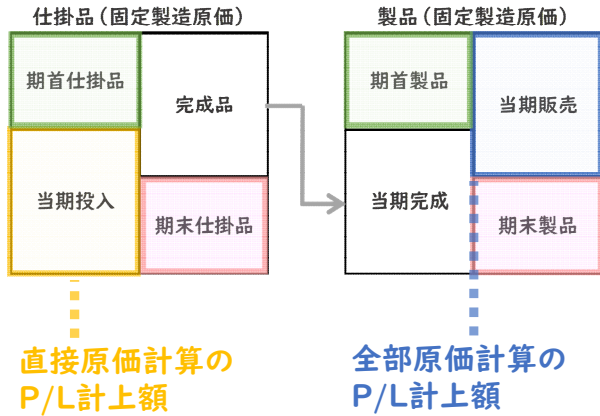
<調整計算の方法を確認しよう!>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>

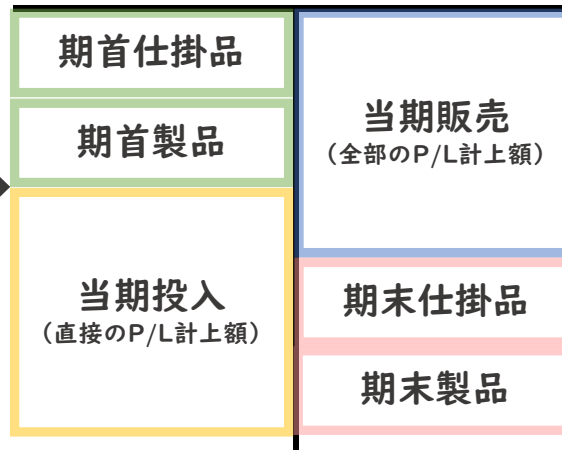


固定費調整

<固定費調整の方法>



仕掛品&製品 (固定製造原価)



●参考●

便利な覚え方

首

「首」には
マイナス
がある

末

「末」には
プラス
がある

※これはあくまでも参考に!
固定費調整の仕組みから
考えるようにしましょう😊



原価に対する調整ではなく
利益に対して調整すると...



利益に対する
調整の場合は、
原価に対する
調整の場合と
+-の符号が
逆になる

●計算式● 全部原価計算方式の営業利益=直接原価計算方式の営業利益+期末棚卸資産に含まれる固定製造原価-期首棚卸資産に含まれる固定製造原価

固定費調整

～問題解説～

<固定費調整を問題で確認しよう!>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



固定費調整

《問題》

次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書を作成し、固定費調整まで行いなさい。なお、期末仕掛品原価および期末製品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

		＜換算量＞
期首仕掛品	500コ (80%)	→ 400コ
当期投入	1,200コ	1,000コ
合計	1,700コ	1,400コ
期末仕掛品	600コ (50%)	→ 300コ
完成品	1,100コ	1,100コ

・()内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 販売データ

期首製品	200コ
当期完成品	1,100コ
合計	1,300コ
期末製品	300コ
当期販売品	1,000コ

**《日商簿記2級》
-工業簿記-**

29. 直接原価計算

～直接原価計算と全部原価計算について～

ミッチ「ぼんいち」は <https://bookiroha.com>

直接原価計算		P/L(直接原価計算方式)	
1. 直接材料費	21,000円	売上高	180,000円
2. 変動加工費	36,000円	変動売上原価	100,000円
3. 固定加工費	4,000円	2. 変動製造原価	104,000円
4. 変動販売費	20,000円	3. 変動販売費	20,000円
5. 固定販売費	4,000円	4. 変動一般管理費	5,000円
6. 固定一般管理費	5,000円	5. 固定一般管理費	5,000円
7. 変動営業利益	41,000円	6. 固定営業利益	56,000円
8. 固定営業利益	41,000円	7. 営業利益	56,000円

・製品1コあたりの販売単価は180円である。

3. 原価データ

	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

4. 販売費・一般管理費データ

- ・変動販売費：製品1コあたり20円
- ・固定販売費(期間総額)：4,000円
- ・一般管理費(すべて固定費)：5,000円

P/L(直接原価計算方式)

I. 売上高	()	()
II. 変動売上原価		
1. 期首製品棚卸高	()	
2. 当期製品製造原価	()	
合計	()	
3. 期末製品棚卸高	()	()
()	()	()
III. 変動販売費	()	()
()	()	()
IV. 固定費		
1. 固定製造原価	()	
2. 固定販売費	()	
3. 一般管理費	()	()
直接原価計算の営業利益	()	()
IV. 固定費調整		
期末仕掛品固定製造原価	()	()
期末製品固定製造原価	()	()
合計	()	()
期首仕掛品固定製造原価	()	()
期首製品固定製造原価	()	()
全部原価計算の営業利益	()	()

固定費調整

○ポイント○

直接原価計算では、固定費を製品原価に含めずに計算するため、変動製造原価と固定製造原価を分けてBOXを作る。

《問題》

次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書を作成し、固定費調整まで行いなさい。なお、期末仕掛品原価および期末製品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

		<換算量>
期首仕掛品	500 コ (80%)	→ 400コ
当期投入	1,200 コ	1,000コ
合計	1,700 コ	1,400コ
期末仕掛品	600 コ (50%)	→ 300コ
完成品	1,100 コ	1,100コ

・()内の数値は加工進捗度を示す。
・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 販売データ

期首製品	200 コ
当期完成品	1,100 コ
合計	1,300 コ
期末製品	300 コ
当期販売品	1,000 コ

※製品1コあたりの販売単価は180円である。

3. 原価データ

	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

4. 販売費・一般管理費データ

- ・変動販売費：製品1コあたり20円
- ・固定販売費（期間総額）：4,000円
- ・一般管理費（すべて固定費）：5,000円

仕掛品（直接材料費）

期首仕掛品	完成品
当期投入	
	期末仕掛品

仕掛品（変動加工費）

期首仕掛品	完成品
当期投入	
	期末仕掛品

仕掛品（固定加工費）

期首仕掛品	完成品
当期投入	
	期末仕掛品

製品（直/材・変/加）

期首製品	当期販売
当期完成	
	期末製品

製品（固/加）

期首製品	当期販売
当期完成	
	期末製品

固定費調整

《問題》

次の資料に基づいて、直接原価計算方式の損益計算書を作成し、固定費調整まで行いなさい。なお、期末仕掛品原価および期末製品原価の計算は先入先出法によること。

1. 生産データ

		＜換算量＞
期首仕掛品	500コ (80%)	→ 400コ
当期投入	1,200コ	1,000コ
合計	1,700コ	1,400コ
期末仕掛品	600コ (50%)	→ 300コ
完成品	1,100コ	1,100コ

・()内の数値は加工進捗度を示す。
 ・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 販売データ

期首製品	200コ
当期完成品	1,100コ
合計	1,300コ
期末製品	300コ
当期販売品	1,000コ

・製品1コあたりの販売単価は180円である。

3. 原価データ 売上高: @180×1,000コ

	期首仕掛品原価	当期製造費用	期首製品棚卸高
直接材料費	21,000円	48,000円	10,000円
変動加工費	17,800円	36,000円	6,000円
固定加工費	7,300円	21,000円	4,000円

4. 販売費・一般管理費データ

- ・変動販売費: 製品1コあたり20円 変動販売費: @20×1,000コ
- ・固定販売費(期間総額): 4,000円
- ・一般管理費(すべて固定費): 5,000円

P/L(全部原価計算方式)

I. 売上高		(180,000)
II. 売上原価		
1. 期首製品棚卸高	(20,000)	
2. 当期製品製造原価	(110,000)	
合計	(130,000)	
3. 期末製品棚卸高	(30,000)	(100,000)
売上総利益		(80,000)
III. 販売費および一般管理費		
1. 販売費	(24,000)	
2. 一般管理費	(5,000)	(29,000)
営業利益		(51,000)

仕掛品(直接材料費)		仕掛品(変動加工費)		仕掛品(固定加工費)							
期首仕掛品	500コ	完成品	1,100コ	期首仕掛品	400コ	完成品	1,100コ	期首仕掛品	400コ	完成品	1,100コ
21,000		45,000		17,800		43,000		7,300		22,000	
当期投入	1,200コ	期末仕掛品	600コ	当期投入	1,000コ	期末仕掛品	300コ	当期投入	1,000コ	期末仕掛品	300コ
48,000		24,000		36,000		10,800		21,000		6,300	

製品(直/材+加)		製品(固/加)	
期首製品	200コ	期首製品	200コ
16,000		4,000	
当期販売	1,000コ	当期販売	1,000コ
80,000		20,000	
当期完成	1,100コ	当期完成	1,100コ
88,000		22,000	
期末製品	300コ	期末製品	300コ
24,000		6,000	

P/L(直接原価計算方式)

I. 売上高		()
II. 変動売上原価		
1. 期首製品棚卸高	()	
2. 当期製品製造原価	()	
合計	()	
3. 期末製品棚卸高	()	()
(変動製造マージン)		()
III. 変動販売費		()
(貢献利益)		()
IV. 固定費		
1. 固定製造原価	()	
2. 固定販売費	()	
3. 一般管理費	()	()
直接原価計算の営業利益		()
IV. 固定費調整		
期末仕掛品固定製造原価	()	
期末製品固定製造原価	()	()
合計	()	()
期首仕掛品固定製造原価	()	
期首製品固定製造原価	()	()
全部原価計算の営業利益		()

I. 売上高	×××
II. 変動売上原価 製品原価(変動製造原価のみ)	
1. 期首製品棚卸高	×××
2. 当期製品製造原価	×××
合計	×××
3. 期末製品棚卸高	×××
変動製造マージン	×××
III. 変動販売費	×××
貢献利益	×××
IV. 固定費	
1. 固定製造原価 期間原価	×××
2. 固定販売費	×××
3. 一般管理費	×××
営業利益	×××

I. 売上高	×××
II. 売上原価 製品原価(すべての製造原価)	
1. 期首製品棚卸高	×××
2. 当期製品製造原価	×××
合計	×××
3. 期末製品棚卸高	×××
売上総利益	×××
III. 販売費および一般管理費	
1. 販売費	×××
2. 一般管理費	×××
営業利益	×××

《まとめ》

直接原価計算の営業利益 (P/L計上額)	
期首仕掛品(固定製造原価)	-
期首製品(固定製造原価)	-
期末仕掛品(固定製造原価)	+
期末製品(固定製造原価)	+
全部原価計算の営業利益 (P/L計上額)	

- ()とは、直接原価計算の営業利益を全部原価計算の営業利益に修正する手続きをいう
- 両者に差額が生じる原因としては、直接原価計算方式の場合、固定製造原価を ()として処理するのに対して、全部原価計算方式では、()として処理するためである。そのため、固定製造原価の棚卸資産の分差額が生じる

■ $\text{全部原価計算方式の営業利益} = \text{直接原価計算方式の営業利益} + \text{期末棚卸資産に含まれる固定製造原価} - \text{期首棚卸資産に含まれる固定製造原価}$



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします♡

第30回の内容お疲れさまでした♪

